

プログラム番号	06012
---------	-------

平成18年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	東京大学 工学系研究科		
②学長名	小宮山 宏		
③所在地	〒113-8656 東京都文京区本郷 7丁目3番1号		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	工学系研究科・助教授	
	担当者氏名	城所 哲夫	e-mailアドレス fso@ue.t.u-tokyo.ac.jp
	電話・FAX番号	TEL:03-5841-6231 FAX:03-5841-8525	
⑤ホームページ URL	http://www.due.t.u-tokyo.ac.jp		
⑥大学院在学留学生数	1988人(うち、国費留学生 795人)		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	英語による都市工学留学生教育特別プログラム
②プログラムの形態	修士課程+博士課程(2+3年間)
③実施研究科・専攻	工学系研究科 都市工学専攻
	(所在地) 〒113-8656東京都文京区本郷 7丁目3番1号
④連携大学・研究科・専攻名	
⑤受入れ学生数	修士7人、博士13人(すべて外国人) (うち研究留学生優先配置希望人数: 修士1人、博士6人) (日本人学生数: 修士0人、博士0人)
⑥担当教員数	合計28人(うち専任: 25人、兼任: 3人)
⑦研究科長(代表者)名	所属部局・職名 工学系研究科・研究科長
	研究科長名 松本 洋一郎

【3. プログラムの内容】

1. 基本的理念と特色

本プログラムは、都市工学、すなわち、都市空間・都市環境の形成管理技術に関する最先端の知見を体系的・統合的に教育し、産業界、大学・研究機関、政府機関・国際機関、および NGO 等の市民セクターにおいて主導的役割を果たす優れた国際的人材を育成する。もって、持続的発展可能な都市の形成と再生という、アジアならびに世界各国共通の課題に関し、学術の一層の発展と実効的な政策の樹立に寄与することを目的とする。

本プログラムを運営する都市工学専攻は、都市空間と都市環境の形成管理に関する諸技術、すなわち、都市活動の分析や環境制御に関する工学的技術、快適で良質な都市空間を構想する計画・デザイン技術、都市形成に関わる諸主体を調整統合する政策調整技術、の3つの技術の統合を目指しており、世界的に見ても、先駆的でユニークな教育研究拠点としての特色を有している。

都市工学専攻の運営する本プログラムは、従来、既設コースにおいて都市工学専攻の担ってきた教育プログラムを拡充し、都市工学専攻が有する先駆性・統合性・国際性を十全に発揮し、アジア各国の風土的・社会的・文化的特質の理解を踏まえた技術と政策の適用といった高度な内容を含め、都市工学に関する先端的かつ統合的・国際的な教育プログラムを提供するものである。

2. 特色ある研究・教育分野

研究型大学院大学としての特色を最大限に生かし、本プログラムにおいても、一般プログラムと同様、修士研究、博士研究の実施を、プログラムの根幹をなす重要な教育プロセスと位置づけている。本プログラム担当教員は都市工学専攻の専任・兼任教員全員であり、都市の持続的な成長・再生に関わるエンジニアリング・マネジメント・政策分野の研究が一体化・統合化された、国際的に特色ある研究・教育拠点として、最先端の研究指導を提供できる体制を有している。専門分野は下記の通りである。

【都市環境コース】

都市環境コースで扱う研究・教育分野は、アジアを中心とした世界の諸都市の環境問題に広く対応すべく、下記のような内容を有している。

・都市環境管理、水環境制御、地球環境工学、水質環境保全、上下水道工学、都市雨水管理、環境微生物工学、廃棄物管理、環境リスク評価、途上国環境管理、環境生態制御、有害物質管理

【都市計画コース】

都市計画コースでは、都市の空間政策に関わる研究・教育分野を広範にカバーしており、下記のような専門分野を主たる対象としている。

- ・国土・都市政策、途上国都市政策、都市土地利用計画、住環境計画、都市デザイン、歴史保全計画、都市交通計画、空間情報解析、地理情報システム、都市防災、都市住宅システム、住環境計画、都市生活学、ネットワーク行動学

3. 講義・演習・研究の体系

本特別プログラムでは、英語による都市工学に関する包括的・専門的な講義を提供している。また、社会基盤学に関する包括的・専門的講義群が連携専門講義として、社会基盤学専攻により提供され、本プログラムの留学生も当該講義を受けることにより専門分野横断的な知の獲得が期待される。今後さらに、分野融合型の基礎論的講義の提供を拡充する。

都市工学の分野の特色は、学術研究と実践的活動が一体となって進められる点にあり、その意味で、課題解決型のグループ演習を重要な教育の場と位置づけている点が、本プログラムの大きな特色である。これらのグループ演習は、多様な価値観・文化・専門的バックグラウンドのぶつかり合いを通じ、新たな知や具体的解決のための提案が生まれる場である。日本人学生も参加するため、その国際的センスの醸成に役立っている。

本特別プログラムでは、博士課程、修士課程を提供している。

4. 使用言語： 英語

図 本特別プログラムにおいて英語により提供される講義・演習・研究の体系

